
1-3月のトラック死亡事故56件、目標未達ペース

Edited By LogisticsToday On 2018/07/26

全日本トラック協会（全ト協）は26日、事業用大型・中型・普通トラックが第一当事者となった1-3月の交通事故統計の分析結果を公表した。

1-3月に営業用トラックが第1当事者となった死亡事故件数は56件で、1万台あたりの死亡事故件数は「1.8」となった。全ト協が「トラック事業における総合安全プラン2020」で目標に掲げている「1.5」を達成するために、「事故防止対策が急務」だとしている。

都道府県別の事故発生件数では、大阪府が最も多く7件、次いで千葉県、静岡県、福岡県がそれぞれ5件、茨城県が4件と続いている。車両区分で傾向を見ると、大型が33件（58.9%）と6割近くを占め、次いで中型が14件（25%）、準中型9件（16.1%）となった。

■分析結果全文

http://www.jta.or.jp/kotsuanzen/jiko/ITARDA_H30_0103.pdf

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/321914>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.